

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年12月28日更新

事務事業名		たばこ税課税事務		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康	所属部	市民生活部	課長名	合志 義浩
	施策	3	財政の健全化	所属課	税務課	担当者名	橋口、山口
	施策の柱	14	自主財源の確保	所属班	市税班	(内線)	1125、1126
予算科目	会計一般	款 2	項 2	目 2	事業連番 11126	根拠法令	地方税法、合志市税条例
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・地方税法(昭和25年)に基づき、市たばこ税を適正に課税する事務。 ・納税は、納税義務者(たばこ製造者・輸入業者・卸売販売業者)が自ら税額を計算し、申告額を納税する「申告納付」で行われている。※たばこの小売価格の中に市たばこ税が含まれており、実際にはたばこを買う人が負担している。 ・高齢化の進展、健康意識の高まり、喫煙規制の強化、増税・値上げ等により喫煙者率が減少傾向にある。 ・旧3級品の税率が平成28年度から平成31年度にかけて段階的に引き上げられ、それに伴い手持品課税が開始された。 ・加熱式たばこの課税強化(平成30年度～令和4年度)及び紙巻たばこの税率の引き上げ(平成30年度～令和3年度)が実行されました。
【業務の流れ】	・毎月 ①納税義務者からの市たばこ税申告書の受付・審査(内容確認)・納付額の調定 ②県から送られてくる販売本数明細書との突合
【主な予算費目】	事業費なし(人件費のみ)
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	市たばこ税申告書の受付・審査・納付額調定、手持品課税納税申告書の審査・納付額調定を行った。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 市たばこ税申告書受付・審査・納付額調定 令和5年度からたばこ税の電子申告を開始する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由 予算なし
→ア:申告件数		
→イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市たばこ税納税義務者	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 →ア:納税義務者数 →イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	市たばこ税の適正な賦課及び調定を行う(適正な申告納付)	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 件 →ア:申告書受付数 →イ:
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠 申告者は、たばこ製造者・輸入業者・卸売販売業者であるため、前年度実績を目標値として設定した。		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	2年度 実績(決算)	3年度 実績(決算)	4年度 目標(当初予算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	6年度 予定	7年度 見込	8年度 見込	
①活動指標	ア 件		43	39	39	32	32	32	32	32	
	イ										
②対象指標	ア 人		6	5	5	5	5	5	5	5	
	イ										
③成果指標	ア 件		43	39	39	32	32	32	32	32	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円								
	人件費	(A)事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6	6	6
延べ業務時間	時間	130	135	130	110	130	130	130	130		
(B)人件費計	千円	512	527	517	418	517	517	517	517		
トータルコスト(A)+(B)	千円	512	527	517	418	517	517	517	517		

事務事業名	たばこ税課税事務	所属部	市民生活部	所属課	税務課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 納税義務者数に増減はないが、毎月の申告件数は減少傾向である。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 納税義務者による「申告納付」のため、成果の向上余地がない。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 地方税法及び市税条例等の規定に基づく事務であり、類似事業はなく他に手段がない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事務費を計上していない。(該当しない)
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 市たばこ税は申告納付であるため、最小限の人員で事務を行っており、業務時間の削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 地方税法及び市税条例等の規定に基づく事務であり、受益機会・費用負担は公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 地方税法の規定に基づく市の固有業務である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

健康意識の高まり、喫煙規制の強化、増税による値上げなどの影響で、将来的には喫煙人口が減少していくことが予想され、市たばこ税も減収が見込まれるところである。ここ数年の税収は、人口の増加もあり、横ばいとなっている。今後も地方税法の規定に基づいた適正な事務を執行し、歳入の確保を図っていく。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						